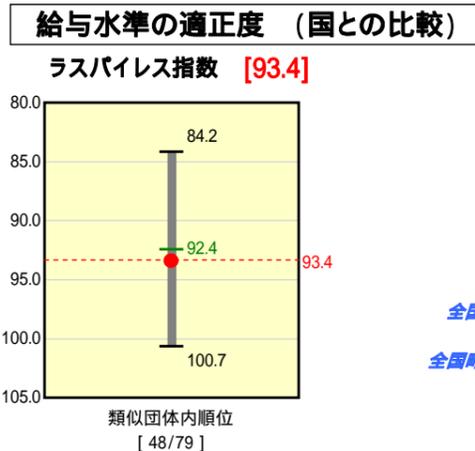
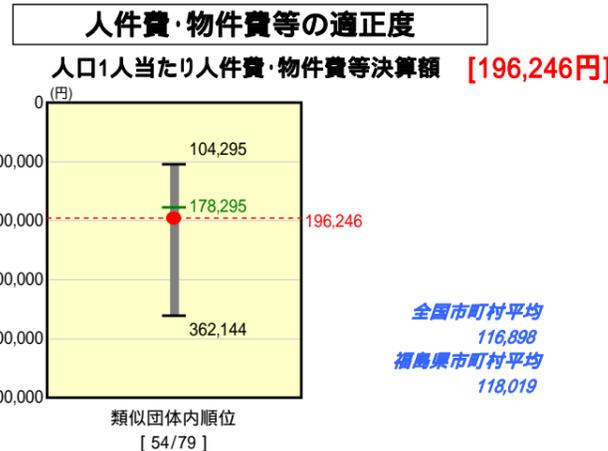
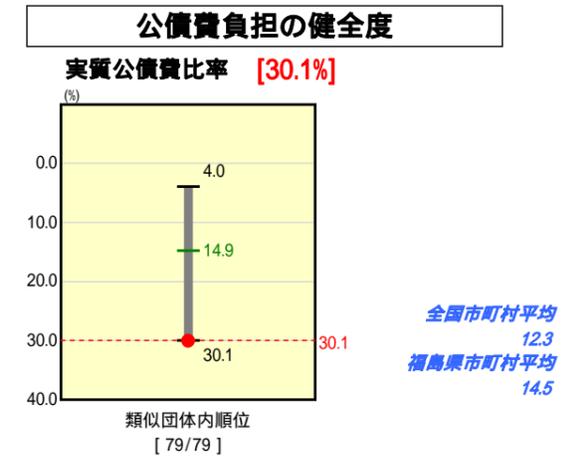
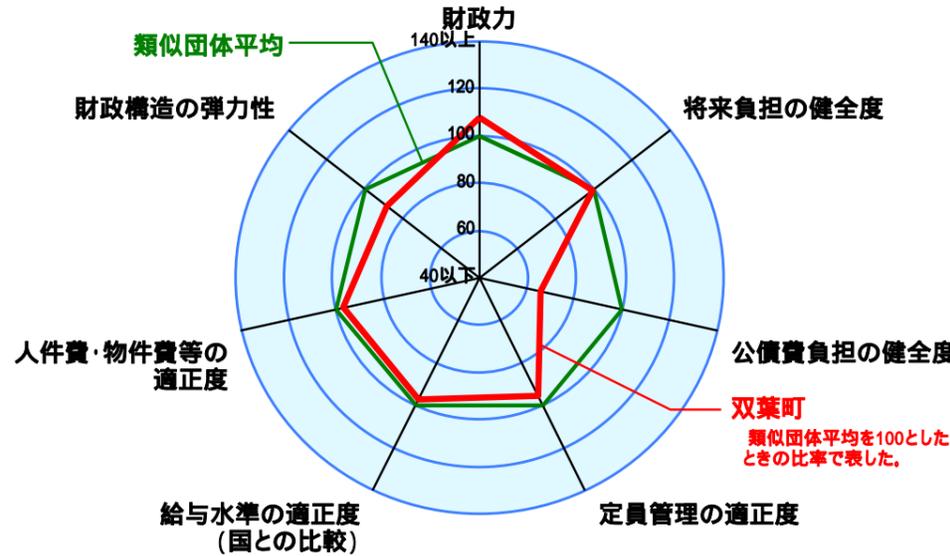
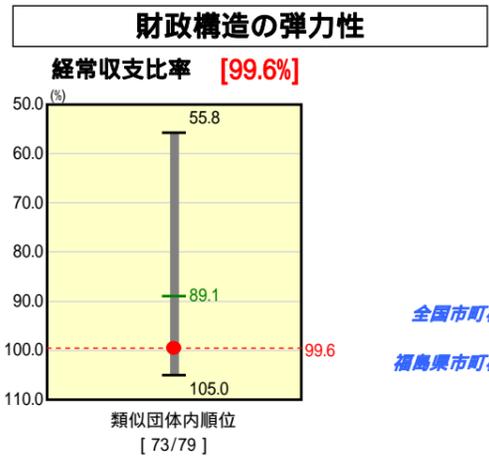
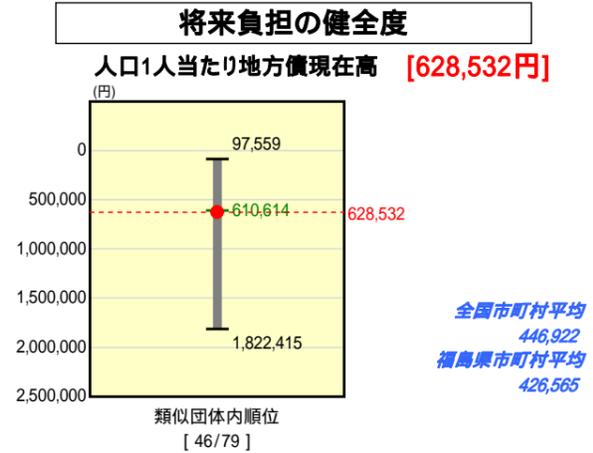
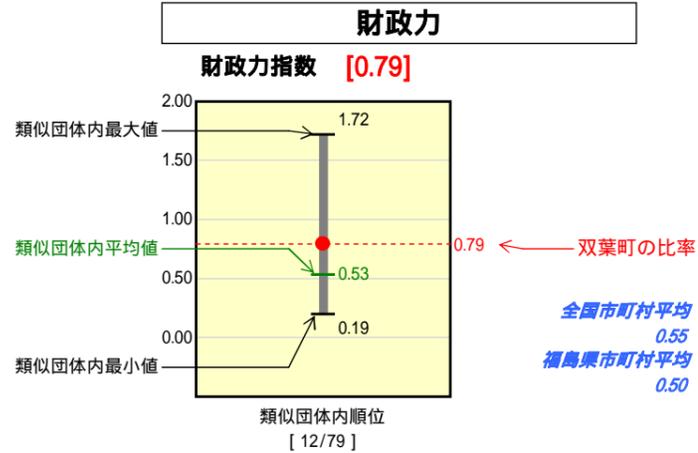


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 福島県 双葉町

人口	7,306	人(H20.3.31現在)
面積	51.40	km <sup>2</sup>
歳入総額	5,618,178	千円
歳出総額	5,509,553	千円
実質収支	108,625	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

### 分析欄

**財政力指数:** 本町は原子力発電所の立地により、類似団体を上回る税収があるため、0.79となっているが、近年低下傾向にある。今後は、歳出の徹底的な見直しを行うとともに、課税客体の適正な把握と徴収対策の強化に取り組み、歳入(自主財源)の確保に努める。

**経常収支比率:** 前年度に比べ4.2ポイント上昇し、類似団体平均を大きく上回っている。要因としては、公共下水道事業特別会計への繰出金(経常経費)が増加したことによる。今後は、集中改革プランに基づき事務事業の見直しを進め、緊急度・優先度の低い事務事業については廃止、休止、縮小を行う。また、公債費負担適正化計画に基づく既往債の繰上償還や借換に取り組み、元利償還金の縮減を図り、経常経費の削減に努める。

**ラスパイレス指数:** 類似団体平均を上回っている。特殊勤務手当の見直しをはじめ、各種手当の総合点検を行うなど、給与適正化に向けた取り組みを進めていく。

**実質公債費比率:** 類似団体を大きく上回っている。30.1%(3年平均)となっているが、単年度比較では、前年度に比べ3.4ポイントの減の29.1%となっており、比率は平成19年度をピークに減少していき、今後も公債費負担適正化計画に基づき既往債の繰上償還、借換に取り組み、更なる比率の低下を図る。

**人口1人当たり地方債現在高:** 前年度に比べ1,951円の減となっているが、類似団体平均を上回っている。今後も地方債新規発行額の抑制、繰上償還を行い、財政の健全化を図る。

**人口1,000人当たり職員数:** 類似団体に比べ1.33人上回っている。これは、類似団体に比べて公の施設数が多いことが大きな要因となっている。定員適正化計画では、平成17年度から平成21年度までの5年間で7人削減することとなっており、これまで年度別目標を達成してきている。今後も公の施設の民間委託(指定管理者の導入等)や退職者補充の抑制などにより、適切な定員管理に努める。

**人口1人当たり人件費:** 物件費の決算額: 前年度に比べ1,030円の減となったが、類似団体を上回っている。今後も定員管理・給与の適正化に努めるとともに、物品購入や業務委託発注時の競争原理の導入を図り、一層の経費節減に努める。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。